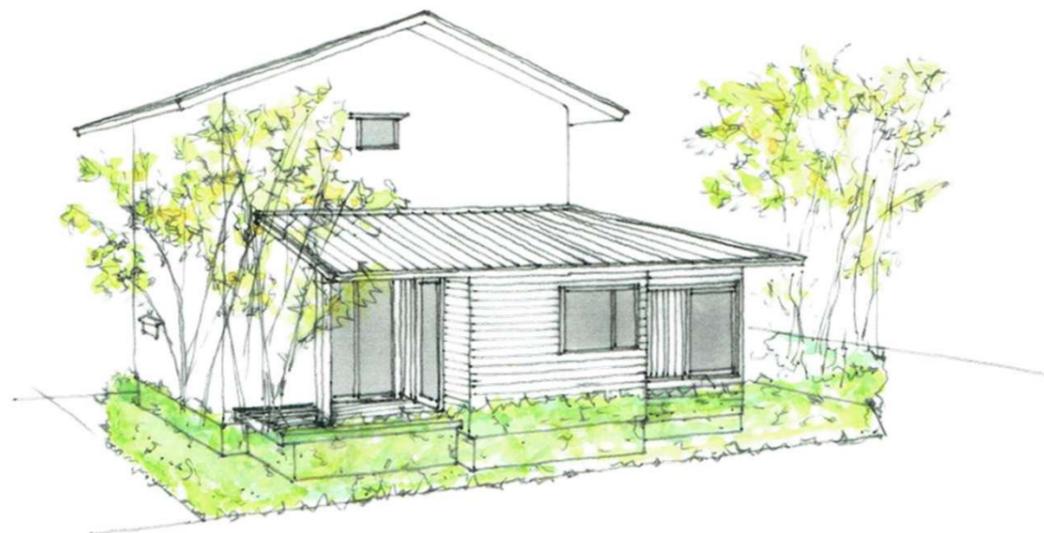
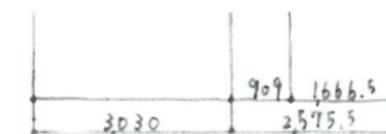
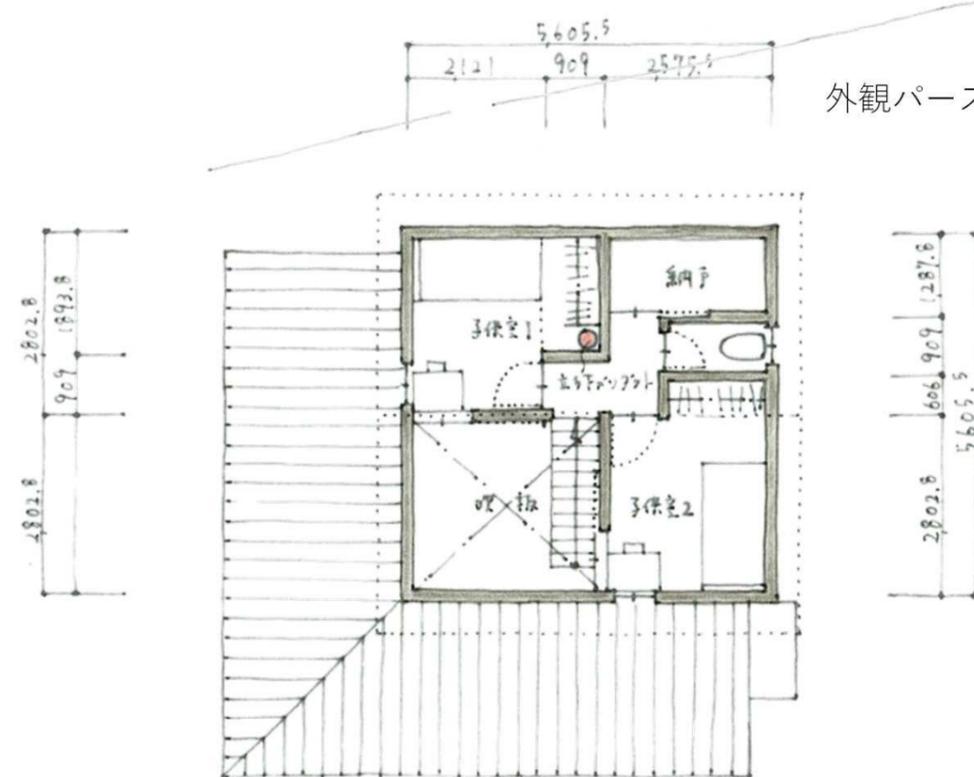
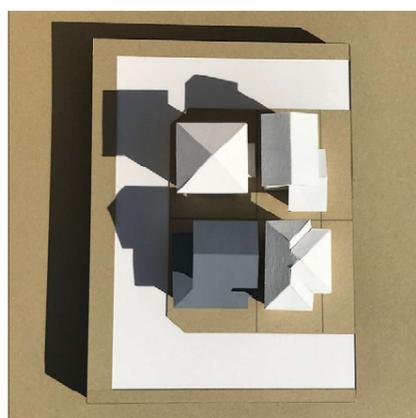


# 下屋を廻した家

道路に面した南・西側に下屋を廻し、街並みに対して圧迫感を抑えた外観とした。これにより軒との距離が近くなった1階空間は、日射遮蔽やグレア対策に一端を担う計画となった。2階の切妻屋根は、東西を棟として集熱パネルを設置し、システムの効率性に配慮した。平面計画においては、ほぼ中央のリビング上部を吹き抜けとし、床下に取り込んだ外気を効率的に上昇させ、温度差の少ない室内環境を得られるよう配慮した。「贅沢ではないけれど窮屈ではない」そんな4人家族が住まう住宅を目指した。小さな家にする事で建築コストを抑え、またゆとりのある外構空間を生み出すことが可能になったと思う。

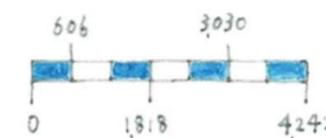


外観パース北西より



2F PLAN

配置図・平面図



## 【D区画】

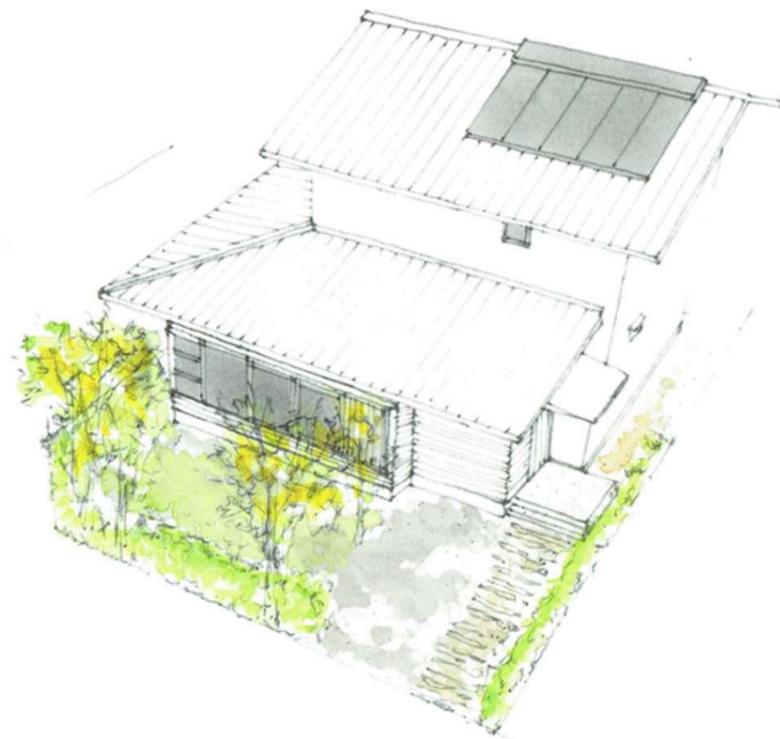
敷地面積 127.99㎡

建築面積 56.41㎡

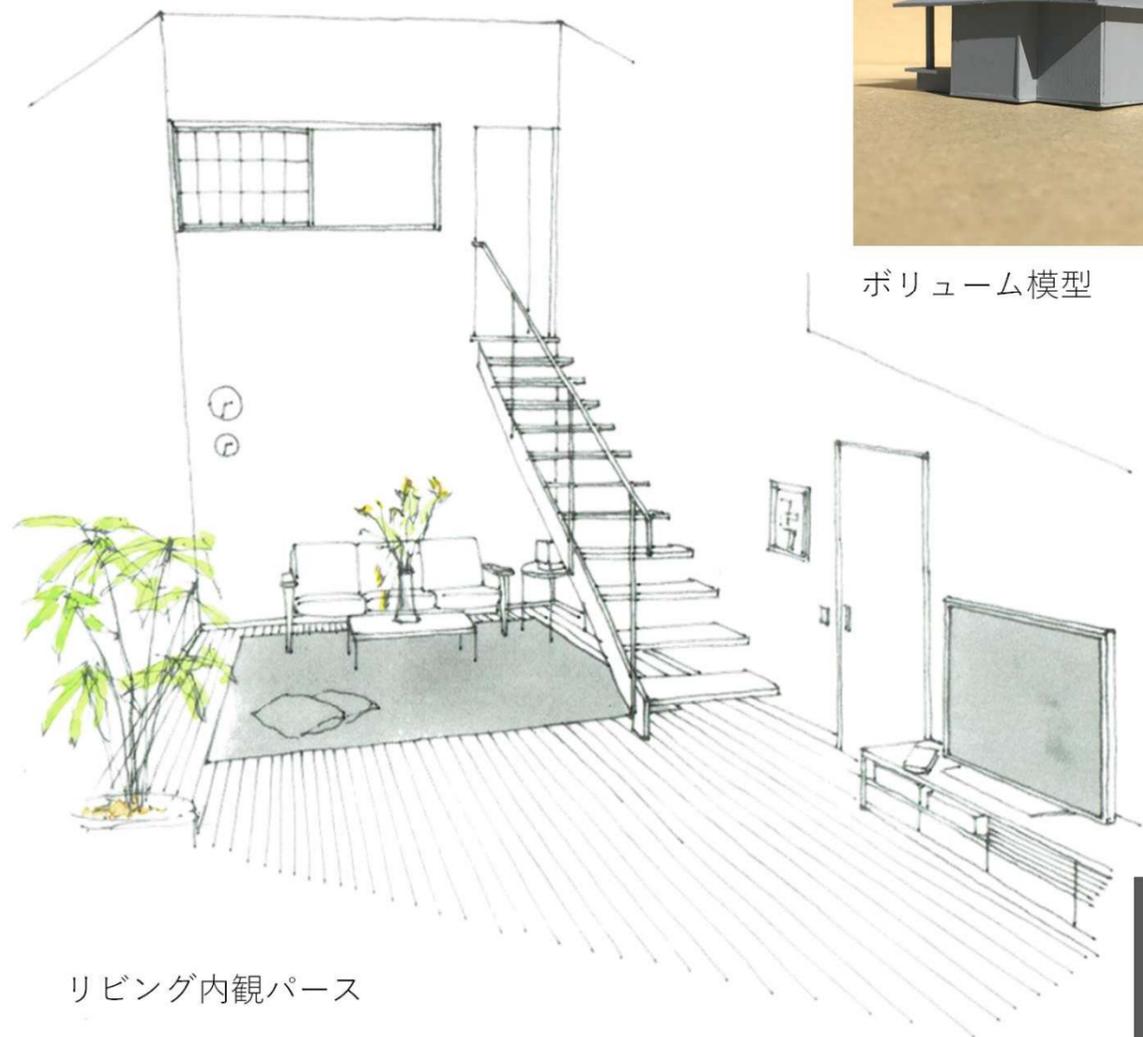
延床面積 80.59㎡(テラス3.56㎡含)



ボリューム模型

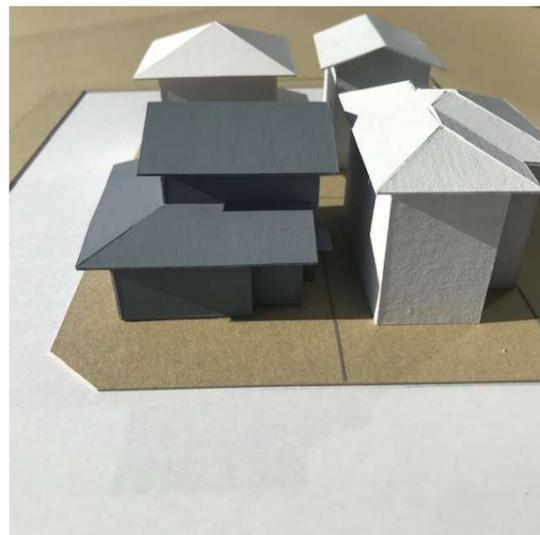
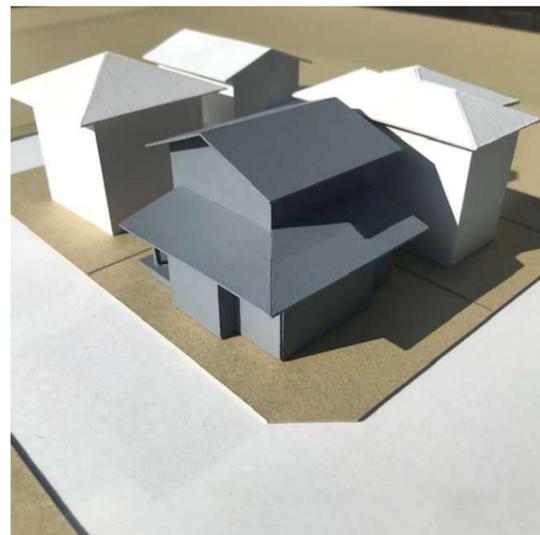


鳥瞰図南東より

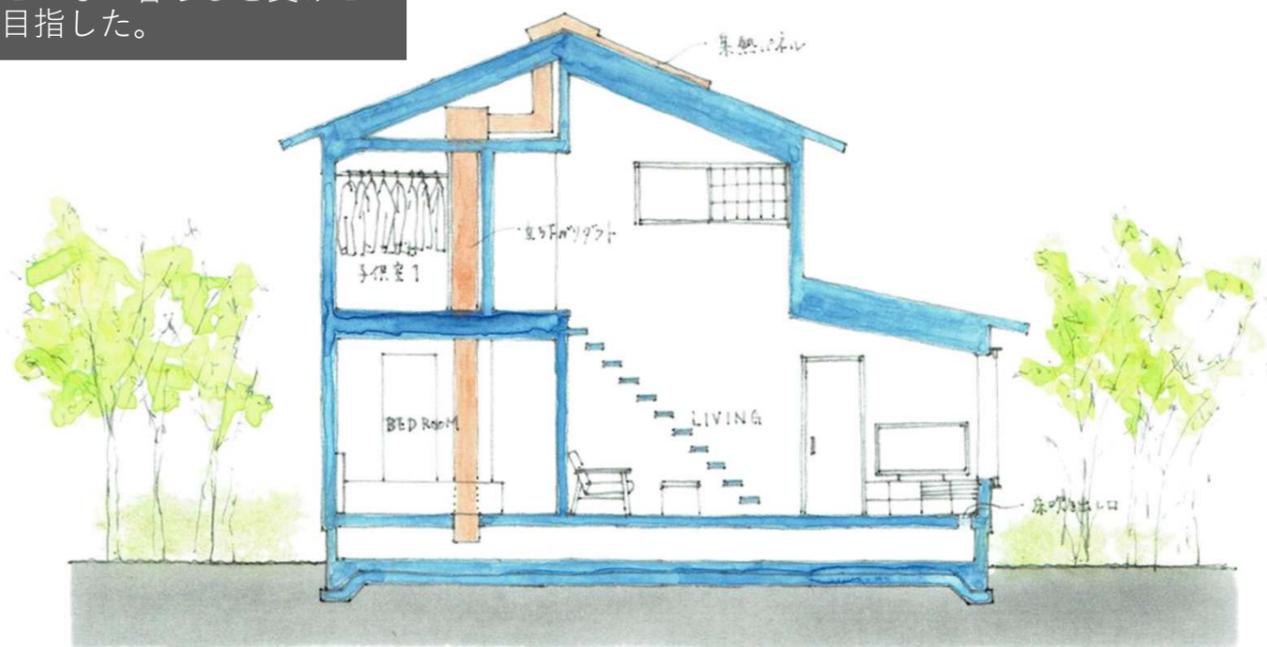


リビング内観パース

建物の周囲に下屋を廻すことで景観への配慮と、日射遮蔽を同時に具現化するデザインとした。余分はないけれど必要なものは揃っている。もてあますことのない暮らしを受けとめる住宅を目指した。



ボリューム模型



断面図